



かわいい仮装で「ハッピー・ハロウィン！」～キッズ英会話教室の仮装行列（10月21日 撮影）



ひろお

議会だより

No **180**

2016年12月1日発行

【平成28年第3回定例会】



「愛と平和 感謝と奉仕」
サンタランドのまち 広尾町

借金の繰上償還を実施 平成27年度決算認定
連続台風の猛威 十勝を襲う
一般質問（5人が登壇）

／防犯カメラ／就学援助／高校存続

総務常任委員会 **防災対策は万全か**

2

6

12

18

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

繰上償還を実施

将来の負担軽減のため25億円

一般会計収入（歳入）合計 106億5505万円

自主財源	町税	9億3042万1062円 (8.7%)
	分担金・負担金	2億4870万3130円 (2.3%)
	使用料・手数料	2億480万8417円 (1.9%)
	その他収入（※1）	28億2948万7473円 (26.6%)
依存財源	地方交付税	38億6518万円 (36.3%)
	国庫支出金（国からもらうお金）	5億4156万2338円 (5.1%)
	道支出金（北海道からもらうお金）	2億7023万5708円 (2.5%)
	譲与税等（※2）	3億2486万1222円 (3.1%)
	町債（借金）	14億3979万5000円 (13.5%)

平成28年第3回定例会は、9月6日（火）から16日（金）までの11日間の会期で開かれました。平成27年度決算認定（一般会計ほか10会計）のほか、条例の制定・改正、平成28年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は10ページに掲載

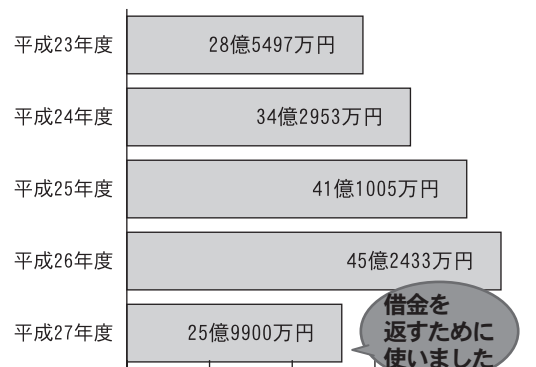
- ※1 その他収入～財産収入・寄附金・繰入金・繰越金・諸収入
- ※2 譲与税等～地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

平成27年度各会計収支（収入・支出）一覧

会 計 名		収入（歳入）	支出（歳出）	差し引き額
一般会計		106億5505万4350円	104億5397万7541円	2億107万6809円
港湾管理特別会計		1億5358万7400円	1億5245万9823円	112万7577円
簡易水道事業特別会計		6643万9248円	6519万8200円	124万1048円
下水道事業特別会計		4億6689万6702円	4億6468万6918円	220万9784円
国民健康保険事業勘定特別会計		12億8211万9788円	12億7727万2518円	484万7270円
介護保険特別会計		6億6578万7364円	6億4916万1572円	1662万5792円
介護サービス事業特別会計		2億5657万8654円	2億5653万490円	4万8164円
後期高齢者医療特別会計		1億210万3905円	1億173万8785円	36万5120円
国民健康保険病院事業会計	収益的収支※3	7億9354万1805円	8億4044万1341円	-4689万9536円
	資本的収支※4	1億5741万3129円	1億5741万3129円	0円
水道事業会計	収益的収支※3	1億6403万9983円	1億978万1737円	5425万8246円
	資本的収支※4	4億9894万8000円	6億895万5028円	-1億1000万7028円

- ※3 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収益と費用
- ※4 資本的収支～将来の事業活動に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの支出と収入

貯金（基金）残高の推移



借金（町債）残高の推移（全会計）



※港湾事業債の繰上償還

町の財政が危機的状況にあった平成17年度に十勝港整備に伴う国からの借金約85億円を利率の低い民間金融機関に借換えしました。

また、将来の返済負担を軽くするために、お金を積み立てて平成22年度と27年度に25億円ずつ計50億円を繰上返済しています。

平成27年度 決算審査

借金の

一般会計支出（歳出）合計 104億5398万円

議会費	9458万759円 (0.9%)
総務費	9億4475万4114円 (9.0%)
民生費	16億3669万3353円 (15.7%)
衛生費	8億8575万8716円 (8.5%)
農林水産業費	3億9255万7573円 (3.8%)
商工費	3億3783万1568円 (3.2%)
土木費	10億9944万6602円 (10.5%)
消防費	3億5150万1000円 (3.4%)
教育費	13億1445万8558円 (12.6%)
災害復旧費	1586万2506円 (0.1%)
公債費（借金返済）	33億8053万2792円 (32.3%)

収

入の36・3%を占める地方交付税は

【一般会計決算の概要】
収入（歳入）合計額は106億5505万円（前年度比30・9%増）、支出（歳出）合計額は104億5398万円（前年度比31・2%増）となりました。

一般会計ほか9会計及び消防広域化に伴い3月末で解散した「南十勝消防事務組合」一般会計の計11会計の平成27年度決算認定について、決算審査特別委員会（旗手恵子委員長）を設置し、9月13、14日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月16日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。
※一般会計・国保事業勘定特別会計・介護保険特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP10）

借

金（町債）残高は合計で168億1837万円となり、前年度比9・8%の減となりました。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比42・6%減の25億9900万円となりました。

町

税収入は前年度比0・6%減の9億3042万円となりました。徴収率は91・8%（昨年度92・0%）で、823万円が未納となっています。

港湾事業債の繰上償還（上記枠内を参考）25億円を行ったことで、これまで返済に充てるため積み立てていた貯金（基金）は大幅に減少。また、借金（町債）も大きく減少しています。

どう使われたのか

決算審査 特別委員会

9/ 6, 13, 14

委員長 旗手恵子
副委員長 小田雅二

平成27年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

ふるさと納税

問

平成27年度は5438件、7911万円

と前年度から急増したが、その要因は。

答

また、使途を「指定なし」とした寄附が約4割となっているが、どんな事業に活用していくのか。
インターネットから申し込みができるようにしたこと、クレジット決済の導入、返礼品である特産品の種類を増やしたことが要因と考えられる。返礼品では、特に毛がにに人氣が集中した。「指定なし」の寄附はまちづくり計画の重要事業に充てたいと考えている。

選挙権年齢引き下げ

問

7月の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下がったが、高校生の有権者数は。

答

高校生の有権者数は把握していないが、参院選時に新たに対象となった有権者数は18歳81人、19歳51人の計132人。

介護施設職員

問

養護老人ホームの臨時職員は何人いるか。身分・処遇の改善はどう考えているか。

答

平成27年度末で臨時職員13人、パート職員4人の17人。平成28年度から、介護福祉士の資格がある職員の月額を6000円増額した。今後待遇改善を検討していく。

健康診査受診率

問

後期高齢者医療制度の健康診査受診率は何か。十勝管内、全道の受診率は。また、今後の目標値は。

答

広尾町の受診率は8・6%で、十勝は12・4%、全道は13・4%となっている。今後は15%を目標値としている。

敬老会記念品

問

敬老会記念品の商品券を有効期限を忘れて使用していない人がいると聞いているが、そのような人たちに救済措置はないのか。また、100%使われないのなら、現金支給にする考えはないのか。

答

有効期限が近付くと防災無線等で再三周知をしている。現状では救済措置は難しい。100%使用してもらえないよう対策を考えていきたい。地域振興の考えから、現金支給ではなく、町内で使える商品券としている。



今年の敬老会で配布した商品券の使用期限は来年2月28日までです。

つづみまつり

問

つづみの満開時期とまつり開催日のタイミングがここ数年合っていない。開催時期の変更を検討しては。

答

ここ2年間、まつりの1週間前につづみの満開時期となった。開

十勝港まつり

問

昨年実施した「海上綱渡り」「磯船競争」は大変好評なイベントだったが、今年実施されなかったのはなぜか。

答

今年も実施を予定していたが、町民有志による実行委員会の体制づくりがうまくいかず、実施できなかった。

私たちの税金

サタメール

問 サタメール基金の残高は。今後はどのようにに事業を運営していくのか。

答 基金残高は平成26年度末で約200万円だったが、平成27年度末は約50万円。

今年度から3年計画のサタプロジェクトをスタートさせ、大学の協力を得ながら事業の検討を進めている。V字回復は

難しいと思うが、申込数が増えるような取り組みを行っていく。



外国文化を体験する貴重な機会に

中学生海外派遣

問 海外派遣事業に参加する生徒はどのようにに選抜しているのか。

答 毎年応募者が定員オーバーの状況にあり、作文、面接に英語検定の部分を反映させて選考している。

公営住宅改修

問 錦町団地の外壁塗装を20年以上実施していないので、かなり劣化

している。今後の実施予定は。

答 建て替え工事と移転が進み、改修を計画できる状況となったので、将来も住むことが見込まれる住宅については、屋根・壁の改修を検討していく。

介護保険特別会計

有料老人ホーム

問 第6期介護保険計画の中で、平成28年度に地域密着型有料老人ホームの建設が予定されているが、進ちよく状況はどうなっているか。

答 計画策定の際に、民間事業者から老人ホーム建設の意向があるとの申し出があったため、計画に登載した。現時点で着工には時間を要するとのこと、土地の取得など具体的な提案はないが、事業者と協議して進めていく。

討論

3つの会計で討論が行われました。
※一般会計はP7に掲載

国民健康保険事業勘定特別会計

反対 前崎 茂委員

賛成 山谷照夫委員

平成27年度に国保税の賦課限度額が引き上げられ、高額所得者と言えない人まで限度額世帯となった。国庫負担の増額なしに国保財政の窮迫は解決できるものではない。よって本決算に反対する。

被保険者1人あたりの保険税は増額だが、軽減の範囲が拡大され、軽減対象者も増えている。事業運営に不可欠な経費であり、適正な運営がされていることから本決算に賛成する。

介護保険特別会計

反対 前崎 茂委員

賛成 山谷照夫委員

介護保険料の負担は大きく、必要なサービスは削減されている。介護報酬の引き下げは事業者へのしわ寄せとなり、経営が不安定となる懸念もある。支援を必要とする人の不安が解消できないことから、本決算に反対する。

厳しい財政事情の中、サービス利用者の多くが低所得者である実情を踏まえ、介護保険料の据え置き、利用者負担の軽減など円滑な運営と高齢者福祉の増進について努力が認められることから、本決算に賛成する。

猛威 十勝を襲う

一次産業、道路・鉄道に甚大な被害

広尾町の台風7号・10号被害状況

9月1日現在

人 的 被 害		なし	
一 般 家 屋 等		16件	屋根・壁・物置・車庫等の損壊
町 の 施 設 等		1億1475万4812円	
内 訳	建 物 関 係	103万5297円	音調津消防団庁舎、豊似教住
	土 木 関 係	1億349万9800円	堤防、道路の決壊等、流木
	林 業 関 係	調査中	倒木被害多数
	衛 生 関 係	560万9776円	浄水場の被害
	社会教育関係	437万3130円	パークゴルフ場の倒木等
	そ の 他	23万6809円	
町 の 施 設 以 外		2038万円	
内 訳	農 業 関 係	—	牛舎等の一部破損など 30件 デントコーン倒伏 100.4ha
	港 湾 関 係	988万円	倉庫等の破損など
	商 工 関 係	1000万円	店舗、倉庫等の破損
	水 産 関 係	50万円	倉庫など
被 害 額 合 計		1億3513万4812円	※被害額調査中も多数あり

8月17日からわずかに2週間で4つの台風が相次いで接近、上陸したことにより、十勝地方は全域にわたり大きな被害を受けました。死者2名、行方不明者2名、軽傷者1名の人的被害のほか、350件を超える住宅被害が発生。新得、清水、大樹町では長期にわたる断水で日常生活に大きな支障が出ました。

大雨による橋の流出で不通となっていた帯広・釧路と札幌を結ぶ特急は、年内運行再開を目指していますが、大規模な道路崩落等が発生した国道274号日勝峠の通行再開は未定となっているなど、影響は長期化しています。農業関係では、農作物への影響や河川の氾濫による農地への土砂の堆積

等、漁業関係では川から海へ大量に流れ出た流木により、秋サケ漁に大きな影響が出ました。9月16日には政府により、今回の台風災害が激甚災害に指定されています。

また、芽室町との災害時相互応援に関する協定に基づき、9月7、8日の2日間、職員計20名を派遣。屋外で汚泥等の除去作業を行いました。



芽室町の復旧作業のため、職員20人を派遣

行政報告

台風災害の被害状況

大型の台風7号が8月17日に北海道に上陸。同日午後3時に災害対策本部を設置し、関係機関へ協力要請を行い、町民への対応にあたった。

また、8月30日には大型の台風10号が北海道に接近。日高山脈沿いで総降水量300ミリを超える猛烈な雨となり、河川の増水の原因とする水道の濁りが町内で発生した。これらの台風で人的被害

はなかったが、道路の決壊や流木による漁業被害、施設の損壊など多くの被害があり、速やかに復旧対応を図っていく。

※被害状況・被害額は表のとおり

災害復旧に伴う一般会計・簡易水道事業会計補正予算が追加提案され、可決されました。

連続台風の

平成27年度決算を認定

《一般会計採決結果》

賛成 8 反対 3 認定



河川増水により、道路も決壊（野塚・杵築古川付近）

数字で見た広尾町の財政力 （平成27年度）

項 目	H27	H26
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.201	0.193
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。町村では75%以下が適正とされている。	87.9%	80.5%
（将来の借金返済のため積み立てた額を含めた数値）	（－）	（87.7%）
実質公債費比率 高いほど収入の多くを借金の返済に使うことになる。25%を超えると借金を制限される。	7.9%	9.2%
将来負担比率 高いほど将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	105.1%	111.4%

地方の経済活動はいまだ停滞しており、消費税増税や子育て世代の負担増など町民生活は厳しさを増している。社会的弱者である高齢者や障がい者、低所得者の生活を支え、住民福祉の向上を図らなければならない。非正規介護職員解消にも至っておらず、早期の改善が必要と考え、本決算認定に反対する。

中学生の医療費無料化など子育て支援策の拡充、「観光・食・定住」に向けた取り組みや産業への継続支援のほか、防災・減災対策も継続して取り組んでいる。また、港湾事業借換債の一部繰上償還を行うことで後年次の負担軽減を図るなど、財政健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

反対

住民の福祉向上を

前崎 茂 議員

賛成

財政健全化へ努力

小田 英勝 議員

討論

（一般会計歳入歳出決算）

地域活動の拠点施設に

紋別研修センターが完成

紋別地区の新たな地域活動の拠点として、建設が進められていた「紋別研修センター」が9月に完成しました。現在の酪農研修センターは耐震性が確認されず、施設の老朽化も進んでいたことから、新たな施設を建設したものです。9月15日には、完成を祝い紋



その他決まったこと

- ◎ 8月の台風災害復旧にかかる平成28年度補正予算2件の専決処分を承認しました。
- ◎ 任期満了による教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任に同意しました。
教育委員～中村孝夫さん（再任）
石山 拓さん（新任）
固定資産評価審査委員～山川揚大さん（再任）
- ◎ 水道事業会計の平成27年度末処分利益剰余金5161万3703円のうち、2987万5213円を自己資本金に組み入れました。
- ◎ 障がい者福祉システムと業務用機器一式を1047万6000円で購入しました。
- ◎ 地方税法等の改正に伴い、税条例の必要事項を改正しました。（軽自動車税の「環境性能割」創設など）

次のページは
「意見書・行政報告・補正予算」



牛舎や農地にも浸水被害が (トヨイベツ)

台風被害に十分な支援を

～意見書5件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。

※各意見書の提出先は欄外に記載

① 平成28年8月の連続4台風による災害対策に関する意見書

提出者 浜頭 勝議員

十勝に相次いで上陸、接近した台風により、河川が氾濫し、浸水及び道路・橋梁の崩壊や土砂災害の発生、畑作や酪農、最盛期を迎える秋サケ漁など被害は多岐にわたっており、住民生活と地域経済に大きな影響を及ぼしている。

迅速な災害復旧と住民の平穏な生活を一刻も早く取り戻すため、以下のことを強く求める。

- ① 河川被災箇所の早期復旧・緊急治水対策
- ② 農林水産業被災生産者などへの十分な措置
- ③ 地方債の所要額確保・交付税措置の拡充
- ④ 十分な特別交付税措置
- ⑤ 被災者生活再建支援制度の拡充

② 地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 志村國昭議員

地方自治体は、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定など、新たな政策課題に直面している。公共サービスを担う人材確保を進め、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があるが、社会保障と地方財政を標的とした歳出削減への議論が加速しており、客観・中立であるべき地方交付税制度の根幹を揺るがしかねない。財政再建目標達成のためだけに不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかである。

よって、①地方一般財源総額・社会保障予算の確保、②地方交付税における「トップランナー方式」の廃止、③復興財源措置の継続、④地方財政計画内の「まち・ひと・しごと創生事業費」などの現行水準確保などのことを求める。

③ 「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者 北藤利通議員

北海道教育委員会による「新たな高校教育に関する指針」(以下「指針」)策定から9年が経過。この間、地元から高校が無くなったことで、子ども・保護者に心身的・経済的負担増を強いている。地域の意思・要望を反映させた新たな計画・制度が必要であることから、以下のことを求める。

- ① 実情にそぐわない「指針」の抜本的な見直し
- ② 「公立高等学校配置計画」の一方的な策定は行わないこと
- ③ 「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限撤廃及び対象者の拡充
- ④ 希望するすべての子どもが地元の高校へ通うことのできる後期中等教育の保障を検討すること

保険料軽減の維持・継続を

④ 後期高齢者医療制度における保険料軽減の特例の維持・継続を求める意見書

提出者 旗手恵子議員

後期高齢者医療保険料は、国の特例措置で低所得者に対する所得割や均等割の軽減を拡大してきた。しかし、平成29年度から原則的に政令本則に戻ること、加入者の約

60%の軽減対象者の保険料が2倍以上の引き上げとなり、甚大な影響が及ぶ。それにより、高齢者のさらなる生活環境悪化が懸念される。

よって、保険料軽減特例の維持・継続を強く求める。

⑤ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道の森林が持つ多面的機能を発揮させるためには、森林資源の循環利用推進が必要であり、林業・木材産業の成長産業化は雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

よって、次のことを強く要望する。①森林吸収源対策の推進、②森林整備・治山事業の財源確保、③森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置の充実・強化



地域の要望を反映させた新たな計画・制度の策定を

意見書の提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣～①②④⑤、農林水産大臣・国土交通大臣～①⑤、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、防災)～①、内閣府特命大臣(経済財政政策・地方創生)～②、内閣官房長官～②④、経済産業大臣～②⑤、北海道知事・北海道教育委員会教育長～③、厚生労働大臣・社会保障・税一体改革担当大臣～④、文部科学大臣・環境大臣・復興大臣～⑤

普通交付税は年々減少

	交付税額	前年度比
平成24年度	38億5022万2000円	0.5%
平成25年度	38億2218万2000円	△0.7%
平成26年度	36億 548万8000円	△5.7%
平成27年度	35億4700万7000円	△1.6%
平成28年度	33億8575万5000円	△4.5%

平成28年度の普通交付税決定額は、33億8575万5000円となり、前年度と比べ1億6125万2000円、4.5%の減となった。

普通交付税の決定



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

7月1日付人事異動

発令件数46件のうち、昇格17人（課長補佐↓課長2人、係長↓課長補佐11人、係↓係長4人）、看護師1人を新規採用し、職員数は202人。

全国消防操法大会出場

7月15日に行われた北海道消防操法訓練大会（江別市）で十勝代表として出場した広尾消防団が小型ポンプ操法の部で優勝。10月14日に長野県長野市で行われる全国大会に北海道代表として出場する。

工事請負契約の締結

①野塚8線道路改良舗装工事
契約の相手方―株式会社ホリタ

予算審査特別委員会

委員長 北藤利通
副委員長 志村國昭

9/6, 8

一般会計ほか9会計の平成28年度補正予算案10件を、9月6日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

起業家等支援事業補助金

742万円

町内で新たに事業を始める人、または新商品を開発する事業者に補助金による支援を行う事業で、申請件数の増が見込まれるため、予算を増額しました。

【補助金額】

●新規起業
限度額200万円

●新商品開発
限度額30万円

※ともに補助対象経費の2分の1以内

平成28年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑤、⑥、⑦	78億3984万円	2億4020万円	増
港湾管理特別会計 ③	1億1732万円	112万円	増
簡易水道事業特別会計 ②、③、④	8543万円	1324万円	増
下水道事業特別会計 ③	4億6098万円	640万円	減
国保事業勘定特別会計 ②	12億6313万円	58万円	減
介護保険特別会計 ②	7億3152万円	1681万円	増
介護サービス事業特別会計 ②	2億6551万円	59万円	減
後期高齢者医療特別会計 ①	1億300万円	※増減なし	
国保病院事業会計 ④	収益的支出 8億8615万円	※増減なし	
水道事業会計 ②	収益的支出 1億6376万円	62万円	減

※会計名の後の丸印は補正回数

（1万円未満切り捨て）

問 今年度の申請実績は、また、今後の申請数と補助金額の想定は。

答 今年度は既に2件を採択しており、補助

額は計315万円。今後は申請数4件、それぞれ200万円ずつ計800万円の補助金を見込んで予算を計上している。

起業家支援を受け、町内に新たに開店したそば屋「しおさい」（丸山通北4）



スナック「Chaton。」
（西1条8丁目）

※トップランナー方式

地方交付税の基準財政需要額（標準的な行政事務を遂行するために必要な経費）の算定に、歳出削減に向けた他自治体のモデルとなるような取り組みを反映させること

次のページは
「議案賛否・議員出欠状況」



平成28年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議 案 名	1 浜 野	2 萬 亀 山	3 北 藤	4 前 崎	5 志 村	6 山 谷	7 星 加	8 渡 辺	9 こ だ	10 お だ	11 旗 手	12 浜 頭	13 堀 田	議決 結果
平成27年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	－	認定 (8-3)
平成27年度国保事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	－	認定 (8-3)
平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	－	認定 (8-3)

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

●全会一致の議案（議案名は一部省略しています）

議 案 名	議決 結果	議 案 名	議決 結果
専決処分の承認（平成28年度一般会計補正予算（第5号））	承認	平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
専決処分の承認（平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））	承認	平成28年度国保事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
平成27年度港湾管理特別会計歳入歳出決算	認定	平成28年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
平成27年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	可決
平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
平成27年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算	認定	平成28年度国保病院事業会計補正予算（第4号）	可決
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	平成28年度水道事業会計補正予算（第2号）	可決
平成27年度国保病院事業会計決算	認定	平成28年度一般会計補正予算（第7号）	可決
平成27年度水道事業会計決算	認定	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
平成27年度南十勝消防事務組合一般会計歳入歳出決算（打切り決算）	認定	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
平成27年度広尾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書	可決
財産の取得（障がい者福祉システム）	可決	後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の維持・継続を求める意見書	可決
税条例等の一部改正	可決	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	可決
集会所の設置・管理条例の一部改正	可決	平成28年8月の連続4台風による災害対策に関する意見書	可決
平成28年度一般会計補正予算（第6号）	可決	閉会中の委員会継続調査	可決
平成28年度港湾管理特別会計補正予算（第3号）	可決	議員の派遣	可決
平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決		



「政務活動費」は議員報酬とは別に、地方議員が調査研究などの活動を行うために支給される費用のこと。平成24年の地方自治法の改正で、「政務調査費」から名称を変え、使い道も各自自治体が条例で定めることになったよ。

十勝管内では「音更町」と「鹿追町」の2町のみ支給

音更町 (議員20人)	議員1人当たり 年間10万円 会派に支給
鹿追町 (議員11人)	議員1人当たり 年間12万円 (月額1万円) 会派等に支給

※広尾町は「政務活動費」を支給していません

議員の出欠状況をお知らせします

(平成28年6月定例会終了後～平成28年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山ちず子	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
			隆	利通	茂	國昭	照夫	廣保	久馬	英勝	雅二	恵子	勝	成郎	
9/6	第3回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9/8	第3回定例会(補正予算)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9/12	第3回定例会(一般質問、補正予算)		○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9/16	第3回定例会(決算認定、意見書など)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
開催日数計	4日	出席日数計	4	4	3	4	4	4	0	4	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
8/8	第6回議会運営委員会		○	ー	ー	○	○	ー	×	○	ー	○	ー	○	○
8/12	第4回議会広報特別委員会		ー	○	○	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	○	○
8/17	第3回総務常任委員会		ー	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	○	○	○	×
8/19	第3回産業常任委員会		○	ー	○	○	○	ー	×	×	ー	ー	ー	ー	○
9/1	第7回議会運営委員会		○	ー	ー	○	○	ー	×	○	ー	○	ー	○	○
9/6	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	ー	○	×	○	○	×	○	○	ー
9/6	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	ー
9/8	予算審査特別委員会(補正)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	ー
9/8	第8回議会運営委員会		○	ー	ー	○	○	ー	×	○	ー	○	ー	○	○
9/12	第9回議会運営委員会		○	ー	ー	○	○	ー	×	○	ー	○	ー	○	○
9/13	決算審査特別委員会		○	○	○	○	ー	○	×	○	○	○	○	○	ー
9/14	決算審査特別委員会		○	○	○	○	ー	○	早	○	○	○	○	○	ー

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんがオブザーバーとして出席しています。

※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。

※予算審査特別委員会は議長、決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
7/5～6	全道議員研修会(札幌市)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
9/6	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
8/22～23	議会広報研修会(札幌市)		ー	○	○	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	×	○	ー

議会のこと

教えて！さーたちちゃん



議会のしくみも勉強中



議員の報酬はどれくらいなの？



毎月支払われる報酬は、議長29万4000円、副議長23万5000円、常任委員会と議会運営委員会の委員長21万円、議員は18万5000円だよ。それとは別に6月と12月に年間計4.3か月分のボーナスが支給されるよ。



じゃあ、最近よくニュースで聞く「政務活動費」ってなに？ 広尾町は支給されているの？

次のページは「一般質問」「防犯カメラ・お墓・十勝バス」

ズバリ 町政を問う — 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねます。

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

●一般質問 項目一覧

萬亀山ちづ子議員	防犯カメラ設置の考えは	P 12
前崎 茂議員	町営合葬墓の建設を	P 13
	十勝バス広尾線 利用促進の支援を	
	季節労働者の冬期雇用対策を	P 14

旗手恵子議員	安心・安全の介護保険を	P 14
	就学援助の入学準備金 早期支給を	P 15
おだ 小田雅二議員	災害、気象情報の迅速な取得や共有を図るべき	P 15
	街路樹の維持管理・補修に対する考えは	P 16
渡辺富久馬議員	広尾高校存続に全力を	P 16



9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちちゃん」

質問 町長は、執行方針の中で「安心して暮らせるまちづくり」特に防犯に対する備えとして、警察署と連携した住民への必要な情報提供、町内会、関係機関と連携した防犯対策に取り組むとしている。

人的なさまざまな活動に加え、犯罪、事故の前後を記録し、事件の早期解決や抑止効果が期待できる防犯カメラを設置することで、住民の不安を緩和できると思う。

十勝管内においても、設置戸数は少ないながらすでに8町村が要所に設置している。

本町においても設置の考えはないか。



まきやま 萬亀山ちづ子 議員

防犯カメラ

設置の考えは

町長 基準等検討する

答弁 村瀬町長

「安心・安全なまちづくり」実現のため、地域安全推進協議会では犯罪の現状把握及び防止対策の連絡調整、関係機関との連携及び情報交換などを行っている。

ど安全な生活を守る役割として大変効果的である一方、プライバシー保護の問題もあり、使用目的の限定等厳正な基準等を定めるなど検討したい。

本年、車上狙いなど窃盗事件が昨年を上回るペースで発生。警察署と地区防犯協会連合会では、住民自らが車上狙い防止活動の一員として意識を高め、そこから全般的な犯罪防止を図る活動「愛車まもり隊」を実施している。

防犯カメラの設置については、犯罪の抑止・防止な





まえざき 前崎 茂 議員

町営合葬墓の建設を

町長 町民からの要望があれば検討

質問

核家族化や少子化の進行とともに高齢者の単身世帯が増えていく中で、「子どもがいない」「お墓を継いでくれる人がいない」「お墓や納骨堂は多額のお金がかかるので困難である」などの声が寄せられている。

帯広市は、中島霊園に「合同納骨塚」を、網走市でも「潮見墓園合葬墓」を設置し、1万円から2万円で使用できる。本町の高齢化率も年々増加しており、町営の合葬墓の建設を検討すべきでは。

答弁 村瀬町長

茂寄墓地2008区画のうち、現在1918区画が貸付中であるが、昨年度は7区画が返還されている。お墓に対する考え方も変化しており、将来的に安定した管理を委ねられる合葬墓が注目されている状況にあるが、通常自治体が設置する合葬墓は複数の遺骨をまとめて埋葬し、納骨した遺骨は返還不可となっている。基本的にお墓は個人が管理するものであり、特に宗教的な行為に行政



少子高齢化等の影響でお墓への考え方も変化が

まえざき 前崎 茂 議員

十勝バス広尾線 利用促進の支援を

町長 地域の足を守る取り組みを進める

質問

高齢化社会を迎え、生活交通路線バスは通院などで欠かせないが、平均乗車密度が減少した平成22年度から沿線6市町村の負担額が発生し、本町の負担額も、平成26・27年度は1500万円以上の負担額となっている。一方、国道の補助金は8500万円前後と増額されていない。国に補助金の増額を求めるべきでは。

24年3月の定例会一般質問で広尾線のバス内にトイレを設置するよう取り上げたが、乗客利用促進策と本町の支援体制は。

答弁 村瀬町長

小学校の統合に対応する経路変更など、利便性の向上を図ってきたが、利用者の減少や燃油価格の高騰など、経費の増加により負担金が発生している。補助金については、実態に応じた適正な算定方法への見直しを引き続き国等へ要請している。

本年、十勝バスが実施

十勝バス「広尾線」 広尾町の負担状況は

年 度	国・道補助金	市町村負担分	
		沿線6市町村分	うち広尾町負担分
平成23年度	8304万円	1858万円	668万円 (36.0%)
平成24年度	9492万円	1846万円	824万円 (44.6%)
平成25年度	8670万円	2569万円	1037万円 (40.4%)
平成26年度	8543万円	4284万円	1527万円 (35.6%)
平成27年度	8526万円	4159万円	1505万円 (36.2%)

※1万円未満切り捨て

※沿線6市町村～帯広市・幕別町・中札内村・更別村・大樹町・広尾町

したアンケート調査で、トイレ設置を希望する声が多く寄せられたことから、トイレ付バスの設置、試験運行が検討されている。試験運行が決定次第、バス会社と連携しながら、まずバスに乗ってもらえるよう町民へのPRなど、地域の足を守る取り組みを進める。

次のページも「一般質問」
「季節労働者・介護保険・就学援助・災害情報」

季節労働者の冬期雇用対策を

町長 今年度も冬期に解体撤去工事を発注



冬期雇用対策事業にも限界が

質問

平成20年度と23年度に季節労働者の冬期雇用対策事業を実施し、「冬の仕事のないときに助かります」との声が寄せられた。季節労働者の実態は。

昨年度は、旧職業訓練センターの解体など予算化されたが本来の冬期雇用対策ではなく、一部請負業者に限定されたものとなった。
管内でも大樹や上土幌、土幌、幕別、本別各町村

では毎年冬期雇用対策を実施しているが、本町でも実施すべきでは。

答弁 村瀬町長

本町の建設業関連の季節労働者数は、98名である。

これまでも同様の質問があつたが、国が制度をやめた受け皿として、町が事業を実施するのは無理があると答弁してきた。非効率な仕事を作つてまで事業を実施することは控えているが、可能なときは事業を実施していきたい。
今年度も冬期間でもできる工事として、旧かもめ児童会施設の解体撤去を冬期における季節労働者の生活安定と雇用を確保する事業として行う。



はたて 旗手恵子 議員

質問

介護保険がスタートして17年目に入った。

要支援1・2の新「総合事業」移行後、介護事業所の経営、介護内容、基本チェックリストによる判断など介護水準はどう変化したか。

今年8月から介護施設の利用者で、障害年金、遺族年金受給者の食費・居住費の軽減策が縮小され、新たな負担が増えている。本町での該当者は。国は制度改正に向け、さらに介護サービスの利用者負担拡大など改悪しようとしている。国に、安心・安全の介護保険を求めるべきでは。

安心・安全の

介護保険を

町長 国に対し要望する

答弁 村瀬町長

本町は今年3月より総合事業へ移行。介護報酬は移行前の単価としているため、事業所への影響は生じていない。

介護内容については、現在緩和した基準によるサービスは実施しておらず、町内外の事業者からも参入に対する意向はない。更新期を迎えた要支援1の方は基本チェックリストにより総合事業へ移行可能となり、現在1名が移行。今後十分な説明と同意のもとで実施していく。

介護施設利用の負担軽減対象者83名中、負担増となつた方は17名である。今後安心して必要な介護サービスが受けられ

新「総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」

介護保険法改正に伴い、要支援1・2の方が利用する介護予防給付のうち「介護予防訪問介護（ホームヘルプ）」と「介護予防通所介護（デイサービス）」が全国一律の基準に基づくサービスから、地域の実情に応じて市町村が効果・効率的に実施することができる「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行されました。

この事業では、一人ひとりの状態に合わせた介護予防や生活支援のサービスが利用できます。



るよう、国に対し要望していく。

就学援助の入学準備金 早期支給を

教育長 現状では難しい

質問

子どもの貧困問題が深刻になる中、就学援助は重要な役割を果たしている。生活困窮世帯が、入学準備金の立て替えをしな

答弁 笹原教育長

子どもは貧困問題が深刻になる中、就学援助は重要な役割を果たしている。生活困窮世帯が、入学準備金の立て替えをしな

支給できるよ

う、十分配慮する」と答弁している。

その後、入学前の3月に入学準備金を先行支給する自治体も増えている。

本町ではどのように検討されているか。

現在、入学準備金の支給時期は6月中旬から下旬となっている。4月の始業時に就学援助案内と申請書を配布し、4月中旬に申請書を回収認定要件を満たしている世帯は、教育長専決による迅速な決定をしているが、本町の取扱要綱には前年度収入額に基づく要件があり、町民税が確定する6月中旬まで決定できないため、現状では入学前の早期支給は難しい。今後、先進地の算定方法等を調査し、検討していく。



高まる子どもの貧困率。就学援助は大きな役割担う

災害、気象情報の 迅速な取得や共有を図るべき

町長 さまざまな手段を検討

質問

今般の台風被害状況の情報はデータ等を分析、共有し、今後の安全対策を図られるよう一層の努力と対応が必要と思うが、気象情報の取得や処理のための防災アプリの利用について検討してはどうか。

また、帯広と幕別の隣接地域で避難勧告発令時に大幅な時間差が生じたことから、自治体間及び内部ではより密接で簡単な情報伝達が求められる。LINEの利用など迅速な伝達や公開性が必要不可欠と思うが。

答弁 村瀬町長

現在、災害時の情報伝達手段として、防災行政無線、全国瞬時警報システム「Jアラート」での対応、町内全域の携帯電話やスマートフォンに配信するエリアメール等がある。

防災アプリは今後の需要が大いに見込まれることから、既存のアプリで災害時に活用できるものを調査し、町民へ情報提供を図っていく。また、町内会、防災会議等の場で情報共有化の課題について問題提起していく。自治体間の情報共有については、本町の状況と常々情報発信し、情報交換する中で対応できると考える。役場内部についても、LINEを含め瞬時に職員が情報共有できる手段等を検討したい。



災害情報が逐一確認できることなどから、注目されている「防災アプリ」



次のページも「一般質問『街路樹・高校存続』」「どうなった？あの質問」

街路樹の維持管理・補修に対する考えは

町長 安全性を重視した整備を進める



効果と弊害 三面性ある街路樹

質問

街路樹は緑陰効果、町並みとしての景観、そして温暖化予防などに寄与しているが、町内一円を見ると歯

抜け、あるいはほとんど喪失しているところもある。

今後更に風害の多発も予想されるが、町としての維持管理、補修についてはどのように考えていくのか。

答弁 村瀬町長

これまで暴風による倒木の危険性、樹木の成長に伴い電線の保護や見通しの確保に支障がある場

合に街路樹の伐採、撤去を行い安全性と事故防止に努め、道路の整備に合わせた植栽を行ってきた。維持管理については、今までは除雪作業により街路樹が傷むケースが多かったが、ここ最近はその影響が出てきており、その対策として低木を補植するなど考えていく。また、歩行者が多い通学路や医療・福祉施設周辺などは、冬期間の除雪による歩道の確保に配慮しながら、安全性の向上に重きを置いた整備を進めていきたい。



わたなべ 渡辺富久馬 議員

質問

①平成29年度の
②広尾高校入学者
数をどう把握しているか。

③豊似中が広尾中へ統合することによって、広尾高校への進学率の上昇が期待できるか。また、そのための努力は。
④他管内からの入学希望者の見通しと広尾高校の魅力をどのように発信しているか。
⑤他管内からの生徒を獲得するため、町としての受け入れ施設と民間の活用を促すべきであり、また親の負担軽減のため補助する考えは。

広尾高校存続に

全力を

町長

学校を守ることは
まちづくりの根幹

答弁 笹原教育長

者が増えると期待している。

来年度以降の入学者数は、先の学校見学会で庶野・忠類地区からも数名訪れたこと、町外中学校から広尾高校の活動について問い合わせがあるなどの状況から少なくとも45〜50人は確保したい。各種補助や支援を行った結果、生徒が目標を持つて学習に挑む姿勢、学習意欲が出てきており、昨年度の進路決定率は100%である。

答弁 村瀬町長

町外から来る生徒が十分な部活動をするためには、下宿などの課題がある。教育委員会と十分に検討し、経済対策も含めて早急に結論を出し、来年度以降の入学希望につなげていきたい。

豊似中の統合後、部活動や学校行事を通して中高一貫教育が強化、推進されることで、これまでに以上に生徒が広尾高校を身近に感じ、また、交友を深める中から入学希望



どうなった？あの質問

過去に行われた一般質問がその後の町政にどう反映されたか、追跡・調査しました。

質問

**ふるさと納税
もっと積極的な取り組みを**
(平成27年3月定例会・小田雅二議員)

広尾町のふるさと納税への取り組みはアピール度が低い。特典に使用できる産物も豊富にあり、積極的な取り組みが求められるのでは。



答弁

利用しやすい形に改善する

インターネットサイトからの申込を可能にすることや、クレジットカード決済の導入など利用しやすい形に改善する。また、町の特産品を広く提供する形にしたい。



どうなった？

寄附金額が大きく増加

より利用しやすくなったことや、特産品の毛がにが人気を集めて実績が大幅に増加した。
平成28年度は2万件を目標として、魅力ある特産品の掘り起こし等に努めている。

ふるさと納税の実績

年 度	件 数	金 額
平成25年度	81	173万円
平成26年度	49	75万円
平成27年度	5438	7911万円
平成28年度（9月末）	1194	1391万円

質問

未利用施設の対策急げ
(平成27年9月定例会・小田英勝議員)

町有の未利用施設の対策状況は。また、国で来年度から民間の廃屋処理にも条件付きで助成するとの報道もあるが。



答弁

国の支援を活用し、計画的に整備

計画を策定し、国の支援を活用して施設の更新・統廃合などを行う。撤去する費用を市町村が民間に補助する時に、一部が国から助成される。町の空き家管理条例は3月に提案予定。



どうなった？

**管理計画は今年度中に完成、
空き家条例は今年3月に制定済**

公共施設等総合管理計画は今年度中に完成予定。今後はその計画に基づいて施設の管理等を進めていく。老朽化した施設は計画的に解体撤去を行っている。空き家条例は3月に制定済みであり、対策協議会を7月に設置している。

老朽化公共施設解体撤去の実施状況

H 27	旧職業訓練センター、旧陶芸棟施設、教員住宅（音調津）
H 28	旧かもめ児童会施設、酪農研修センター、教員住宅（豊似）

考えた!



総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 ^こだ 小田英勝

調査日 平成28年8月17日

防災対策は万全か

町防災保管庫を視察

の現状 所管事務調査

広尾町地域防災計画

災害対策の実施に当たり、防災関係機関が町民の生命、身体及び財産を保護するため、町における防災の万全を期することを目的とした計画。

計画の修正

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害対策基本法の一部改正、防災基本計画の見直しが行われ、広尾町においても国や道の計画と整合性を図り、防災対策の強化・推進を目的として、平成26年度に本計画の全面修正を行った。

広尾町の備蓄物資

「自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本に鑑み、町民は日頃から被災直後に必要な物資を備えておくことが重要である。

しかし、家屋の倒壊、焼失等により、非常用持出品を持ち出せない避難

者が想定される。

そのため町は、食糧、生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材の備蓄に努め、町民や自主防災組織、事業所等と連携する必要がある、備蓄計画を策定した。

町の備蓄物資目標数量と現在の充足率は左記の表のとおり。

最大避難者数2500人と想定。食糧品・飲料水はそのうち1500人

広尾町の備蓄状況（平成28年3月末現在）

品目	目標数量	備蓄数	充足率
アルファ米	6000食	5093食	84.9%
非常用飲料水 (500ml ペットボトル)	9000リットル	4967リットル	55.2%
毛布	2500枚	1434枚	57.4%
発電機	15台	9台	60.0%

分を自らの持ち出しや町内事業所からの調達により確保し、残り1000人の3日分（1人2食・3リットル/日）を備蓄目標とする。それらの備蓄物資は「災害備蓄保管倉庫」に保管。市街地域では「丸山寿の家族地内」「青少年会館」「健康管理センター」の3か

所と未設置であった山フンベ地域に「山フンベ集会所」が新たに追加され、全部で10か所となった。災害時に速やかな対応が行えるよう、地域が主体となった適正な管理が必要である。

自主防災組織の育成

地域住民による自主防災組織は、日頃起こり得る火災の防止や災害時の被害軽減を図ることが期待され、広尾町には現在17組織ある。道は、自主防災組織の普及のため、

答

道からの指示で策定に向け検討中。

問

役場等が被災した場合、応急対応や優先度の高い業務を行うため、業務継続計画を策定すべきでは。

啓発資料の作成をはじめ、北海道地域防災マスター等の防災リーダーの育成に努めることとしており、特に女性リーダーの育成に努めるとしている。（現在、広尾町では3人）



もしものためにご家庭でも最低限3日分の備蓄を

産業常任委員会

委員長 北藤利通 副委員長 志村國昭

調査日 平成28年 8 月19日

町営牧場の現状と 今後の対策は

オソウシ牧場、28・29年度受け入れ見合わせ

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

町営牧場の運営状況

【受託の状況】

放牧期間は年平均157日程度、約30戸の預託農家から600頭前後の受け入れで推移してきたが、平成22年の661頭をピークに昨年度は438頭にとどまっている。

本年度は、昨年発生した家畜伝染病の影響により、オソウシ牧場での受け入れを2年間見合わせているため、東豊似牧場のみの運営で、預託農家21戸から、437頭を受け入れている。

【収支の状況】

歳出超過の状態が続いているが、特に昨年度は入牧頭数が減少したことや伝染病対策に経費を要したことから、約2500万円の歳出超過となった。

経営状況としては、受入頭数の減少に加え、牧場が2か所に分かれているため構造的なコスト高の問題を抱えており、収支のバランスをとるのが非常に難しい。

今後の在り方

本年の東豊似牧場のみの運営状況から、1か所での運営も可能と想定できるが、これまでのオソウシ牧場への投資が無駄になる懸念が出てくる。今後、設置目的を十分考慮した上で関係機関と協議する。

問 1か所にすれば収支も改善するのでは。

答 1か所にした場合、受入可能頭数が減少し要請に応えられない可能性が出てくるため、慎重に検討する必要がある。



預託農家のニーズに応える町営牧場の在り方とは

商工業の現状と 今後の振興策は

商工業の現状

町内商工業者数の動向は下記の表のとおり。

【商業】

平成26年年間販売額は、109億2332万円で平成19年と比べると34億5530万円、24%の減少となっており、人口減少率11・5%を上回っているため、購買力の町外流出が推測される。

【工業】

平成26年製造品出荷額等は、84億9385万円で平成19年と比べると8億6141万円、11・3%の増となったが、従業員は14人減少している。

今後の振興策

昨年スタートした起業家への支援策は、意欲の創出、雇用促進など商店街の活性化に期待される。

町内商工業者数の動向（平成28年3月末現在）

地 区	商工業者数	商工会会員数		
		H27（加入率）	H22	H17
市 街 地 区	395	256（64.8%）	276	288
野塚・豊似	56	19（33.9%）	22	22
音 調 津	4	2（50%）	3	3
合 計	455	277（60.9%）	301	313

問 プレミアム商品券は、年金支給月に販売を、商工会に意向を伝える。

答 商工業者の共同事業の推進、地域循環型事業の展開と地元購買力向上の支援が必要不可欠である。

次のページは「議会日誌」
「議会報告会・懇談会」

議会活動日誌

平成28年 9月～平成28年11月

【9月】

- 1日 第7回議会運営委員会
- 6日 第3回広尾町議会定例会（～16日）
第2回議員協議会
- 7日 市街地区敬老会
- 8日 第8回議会運営委員会
- 11日 福祉まつり及び高齢者芸能発表会
- 12日 第9回議会運営委員会
- 13日 決算審査特別委員会（～14日）
- 15日 紋別研修センター完成お披露目会及び秋まつり
- 16日 議会広報編集会議
- 20日 開町記念式典
- 21日 十勝神社秋季例大祭（350年祭）
- 23日 施設合同敬老会及び特養開所35周年記念式典

【10月】

- 3日 全国消防操法大会出場選手による操法展示
- 12日 北海道議会議員 喜多龍一 政経セミナー
- 16日 自民党北海道第11選挙区支部「地域政策懇談会」（更別村）
- 17日 総務・産業常任委員会合同行政視察
（～19日、倶知安町・神恵内村・余市町・江別市）
- 22日 サンタランドツリー点灯式
- 26日 第3回議員協議会
議会広報編集会議
- 27日 高齢者スポーツ大会
十勝港まつり協賛会会議
- 28日 財務行政懇話会
- 31日 十勝町村議会議長会議員研修会（幕別町）

【11月】

- 9日 町村議会議長全国大会（8日～・東京都）
- 10日 第5回議会広報特別委員会
- 12日 自民党北海道第11選挙区支部「政経セミナー」（幕別町）
- 13日 東京広尾会（12日～・東京都）
北海道女性議員協議会総会（～14日、音更町）
- 15日 議会懇談会（のーまひろお・2班）
- 21日 議会懇談会（商工会青年部・1班）
- 22日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 24日 第4回広尾町議会臨時会
中札内村議会行政視察 来町
- 29日 議会懇談会（社会福祉協議会・3班）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成28年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①先進地における高校存続の取り組みについて
- ②先進地における福祉行政について

◇産業常任委員会

- ①栽培漁業について
- ②再生可能エネルギー（バイオマス発電）の現状について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

議会報告会・懇談会の班編成が決定

～報告会は来春町内6会場で開催予定～

議会報告会

◎：班長

【1班】◎旗手、浜野、志村、
山谷、星加、小田（おだ）

●担当会場：並木寿の家、音調津総合センター、
農村環境改善センター

【2班】◎渡辺、萬亀山、北藤、
前崎、小田（こだ）、浜頭

●担当会場：コミュニティセンター、丸山寿の家、
野塚公民館

開催時期は来年春を予定しています。日時などが決まりましたら、防災無線や議会だより、町広報誌などでお知らせします。

多くの方の参加をお待ちしています。

議会懇談会

◎：班長

【1班】◎志村、浜野、山谷、旗手

【2班】◎小田^{おだ}、萬亀山、渡辺、浜頭

【3班】◎小田^{こだ}、北藤、前崎、星加

町内各団体の会合等に議員が出向いて、懇談させていただきます。対象団体には議会からご連絡し、日程調整等いたします。

「議会議員と懇談したい」という団体・サークル等がありましたら、議会事務局までご連絡ください。